

# 次世代を担う「人づくり」に向けた少子化対策の抜本強化(案)[論点]

## 少子化対策の抜本強化に向けた四つの重点施策！

### 【重点施策1】地域少子化対策強化交付金の恒久化と弾力的な運用

【提言その1】当初予算に計上し、交付金制度の恒久化を図るべき！

○踏み出せなかった課題に取り組み、高い政策効果が上がっている。

【H26年度は47都道府県と244市区町村が挑戦】

→一過性のものに終わらせないためにも、**交付金制度の恒久化が必要！**

【提言その2】より地方の創意工夫を活かす弾力的な運用を可能に！

○結婚支援策等において、独自の取組を進め、成果を挙げた先行事例あり

→各地域の実情に沿ったものとして広げるには、**運用の弾力化が必要！**

### 【重点施策2】子育てに伴う負担の大胆な軽減

◎理想の子ども数(2.42人)と予定の子ども数(2.07人)に乖離がある理由

◇**子育てや教育にお金がかかりすぎる**

◇第2子、第3子の壁は、経済的要因に加え、**育児負担や仕事の問題！**

【提言その1】子育て世帯の経済的負担の全般的な軽減！

○段階的な幼児教育・保育の無償化の実現

○子どもの医療費助成制度の創設

(国民健康保険制度に係る子どもの医療費軽減に伴う国庫負担金減額調整措置の廃止)

○教育費の負担軽減

○少子化対策に資する税制の検討

(育児支援諸費用の一定割合の税額控除制度の創設など)

【提言その2】第2子の壁の解消に向けた両立支援策の充実！

◆夫婦間・職場での支え合い：働き方の変革(長時間労働の解消)

◆世代間の支え合い：三世同居・近居の促進のための優遇策の検討

◆地域での子育て支援：地域の退職者や高齢者等による子育て支援・地域の見守り

特に 【提言その3】第3子以降への思い切った負担軽減策の導入！

○**第3子以降の保育料の無償化など、段階的な幼児教育・保育の無償化の実現！**

○多子世帯に有利な税制の創設など**少子化対策に資する税制の検討**

### 【重点施策3】新制度に必要な財源確保と更なる質の向上

【提言その1】1兆円超の財源確保！

子ども・子育て会議で議論された、サービスの質・量の改善に向けた施策の完全実施に向け、**1兆円超の財源確保のための措置を確実に講じること**

【提言その2】更なる質の向上に向けた継続した取組の実施！

教育・保育施設の関係者や地方自治体の意見、さらには、今後の子ども・子育て会議での議論なども踏まえ、**継続して改善方策等の検討を行なうこと**

### 【重点施策4】子どもの貧困対策の抜本強化

#### ひとり親家庭の現状

①ひとり親家庭の貧困率は、子どもがいる家庭の約4倍！(2012年)

- ・大人が一人の子どもがいる現役世帯の貧困率54.6%
- ・子どもがいる現役世帯全体の貧困率15.1%

②母子世帯の所得は児童のいる世帯の4割以下！

- ・児童のいる世帯全体(673万円) ・母子世帯の平均所得(243万円)

【提言その1】特に厳しい環境におかれた子どもたちの支援策の抜本強化！

○非正規から正規雇用への就労形態の転換を促進する各種支援策の充実・強化

○経済的な理由によって、**教育の機会均等が阻害されない**支援策の充実・強化

○**社会的養護を必要とする子ども達へのきめ細かな**支援策の充実・強化

#### ひとり親家庭・児童養護施設の子どもの進学状況

①中学校卒の子どもの進学率：

全体98.4% { 児童養護施設96.6% ひとり親家庭93.9% }

②高等学校卒の子どもの進学率：

全体70.2% { 児童養護施設22.6% ひとり親家庭41.6% }

【提言その2】貧困の世代間連鎖を断ち切るための学習支援や教育施策の実施！

○個に応じたきめ細かな学習指導など、**必要な学力を確実に身につけられる体制**の整備

○放課後児童クラブ等の**要件の緩和**や利用者負担の軽減につながる財政支援措置  
(スクールソーシャルワーカー)

○**教員やSSW等を配置するための財源確保と専門性の高い人材確保**に向けた支援策の充実